

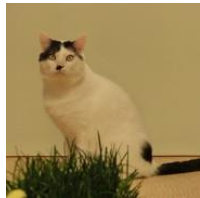
東日本大震災・原発事故 被災動物の譲渡にご協力ください!!

東日本大震災から3年半が経過しましたが、今でも福島県の多くの住民の方々が大変不自由な避難生活を余儀なくされております。また、未解決な課題が山積しており、復興までにはまだまだ時間がかかるものと思われまます。

現在福島県動物救護本部が運営する動物シェルターには原発事故に伴う警戒区域内(立ち入り禁止区域)から保護され、譲渡可能な猫29頭が収容管理され、新しい飼い主さんが現れるのを待っています。

しかしながらここにご紹介する猫たちは、残念ながら「猫エイズ」や「猫白血病」に感染している猫たちです(発症していないがウィルスキャリア)。

その中でも元気で性格のよい可愛い猫がたくさんおりますので、もし気に入った猫がいたときは、「猫エイズ」や「猫白血病」の症状なども十分にご理解の上、ご検討下さいますよう、お願いいたします。



条件が整い、新しい家族として迎えてくださる方は、お申込み～引き受けまでの手順

『[家族になるまで](http://www.fuku-kyugo-honbu.org/)・<http://www.fuku-kyugo-honbu.org/>』

福島県動物救護本部のホームページを参考にお申込みください。

●猫エイズ(猫後天性免疫不全症候群)について●

猫エイズとはネコ免疫不全ウイルスにより引き起こされる諸症状のことをいいます。愛猫家の方は既にご存知かと思いますが、日本にいる猫の30パーセント近くが感染しているといわれており、その症状などは概ね次のようなものです。

- ・ウイルスは血液や唾液に含まれ、ケンカで噛まれたりして感染します。人間にはうつらず、猫属にしか感染しません。
- ・多くの猫は感染していたとしても5～10年無症状で発症せずに寿命をまっとうできる猫もいます。しかし、発症すると免疫が低下する病気なので、口内炎・鼻炎・腸炎などなかなか治りづらい症状が出ます。
- ・根本的な治療方法はないので快適な環境であまりストレスをかけずに飼うことが発症を遅らせることとなります。
- ・同居猫がいるような方には、感染のリスクがあるので一緒に飼育はオススメ出来ません。

●白血病(猫白血病ウイルス感染症)について●

猫白血病とは白血病ウイルスに感染している猫の唾液や血液(ケンカなどによる)を介して感染します。猫エイズ同様人間にはうつらず、猫族にしか感染しません。

症状としては、口内炎・鼻炎・胃腸炎などが、なかなか治らなかったり、リンパ系の腫瘍・重い貧血などを発症することがあります。

しかし、ウイルスを持っていても何の症状もあらわず普通の生活が何年もできる猫もいたり、その間にウイルスが消えてしまう猫もいます。

上記のような症状を発症させないためには、猫エイズと同様にストレスのかからない環境下の室内飼いで食事に気をつけることが必要です。

また、もし何らかの変化がみられた場合には早めに動物病院を受診することが必要です。

三春シェルターには、多くの猫が保護・収容されており、たくさんの猫たちが新しい飼い主(譲渡)が決まり幸せな毎日を送っています。

しかしながらここにご紹介する猫たちは、残念ながら「猫エイズ」や「猫白血病」に感染している猫たちです(発症していないがウィルスキャリア)。

しかし、その中でも元気で性格のよい可愛い猫がたくさんおりますので、もし気に入った猫がいたときは、「猫エイズ」や「猫白血病」の上記の症状なども十分にご理解の上、ご検討下さいますようお願いいたします。



【番号】 20015



【番号】 20169



【番号】 20178



【番号】 20197



【番号】 20199



【番号】 20234



【番号】 20264



【番号】 20275



【番号】 20289



【番号】 20296



【番号】 20316



【番号】 20330



【番号】 20338



【番号】 20342



【番号】 20345



【番号】 20355



【番号】 20361



【番号】 20364



【番号】 20365



【番号】 20382



【番号】 20386



【番号】 20389



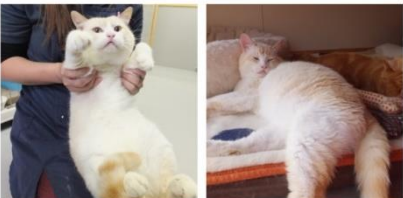
【番号】 20393



【番号】 20425



【番号】 20446



【番号】 20452



【番号】 20457



【番号】 20461



【番号】 20463